



鴻巣市立下忍小学校

令和3年2月1日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

日光東照宮に学ぶこと～見る・聞く・話すことの大切さ～

校長 宮野和幸

先月、6年生の校外学習が無事に終了しました。本来であれば、栃木県にある日光東照宮の訪問予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら当初の計画通りとはなりません。日本古来の歴史を学ぶことのできる、この日光東照宮について、個人的には何度か訪れたことがありますので改めて色々と考えてみたいと思います。



【日光東照宮の由来】

日光東照宮は、元和（げんな）3年（1617）徳川初代将軍徳川家康公を御祭神におまつりした神社です。家康公は、世の中に秩序と組織を形成し、学問を勧め産業を興し、江戸時代260年間にわたる平和と文化の礎を築きました。



【神厩舎・三猿（しんきゅうしゃ・さんざる）】

神厩舎は、ご神馬をつなぐ厩（うまや）です。昔から猿が馬を守るとされているところから、長押上には猿の彫刻が8面あり、人間の一生が風刺されています。中でも「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿の彫刻が有名です。

～日光東照宮のホームページより～

さて、上記の中の境内にある「三猿」について考えてみると、「見ざる、聞かざる、言わざる」という格言で有名な三匹の猿として広く紹介されています。世の中の余計なことは「見ない、聞かない、話さない」という生き方の知恵を示しているとも言われています。さらに、色々調べてみると、実は海外でも同じような諺（ことわざ）があるようです。

See no evil（良かなることは見ないこと）
Hear no evil（良かなることは聞かないこと）
Speak no evil（良かなることは話さないこと）

ここで使われている「evil」とは「良からぬこと」という意味があります。また、この「evil」というアルファベットを反対から読むと、「Live」つまり「生きる」という単語になります。このことから、「よく見ること、よく聞くこと、よく話すこと」は、「よく生きること」となる訳です。改めて生きるために大切な教えであると思いを巡らせました。

実は、日光東照宮には、5173個もの彫刻があり、参道側（三神庫側）の長押（なげし）に5面、西側に3面の計8面にも合計16匹の猿が彫られており、人間の一生が風刺されているとされています。つまり、この「三猿」は人が生きていく過程の中での一つの場面であることにも繋がります。これらの彫刻には人が幸せな人生を送ることができるよう、また品性と希望をもって生きていくことの大切さを強く訴えているのかもしれない。

今後、何かの機会に訪問することがあれば、是非じっくりと見学してみてください。

避難訓練(火災)・安全朝会 1月6日(水)

今回は、吹上消防署の方をお招きし、火災が発生した時を想定した避難訓練を実施しました。子どもたちは、避難指示に従い、おしゃべりもせず、真剣に取り組むことができました。訓練後には、消防署の方から、火災発生時の避難の仕方や煙の怖さ等をわかりやすく説明していただきました。また、その日の朝の安全朝会では、避難するときの約束や消火器の使い方をスライドショーで学びました。万が一の時に、子どもたちの生命が守れるよう、今後も安全教育を広く推進していきます。



手話体験 4年生 1月14日(木)

1月14日（木）に、講師の先生をお迎えし、4年生が手話体験を行いました。講師の先生からは、日常生活で困っていることやその工夫、周りで生活する人からの有効な補助等についてのお話を、手話通訳を交えて伺いました。また、日常生活で実際に使えるような手話をいくつか教えていただきました。講師の先生から学んだことをこれからの生活の中で生かして欲しいと願っています。



下忍っ子的ために！

学校便り10月号でも紹介させていただきましたが、再び、学校応援団の方より、たくさんのマスクを寄贈していただきました。今回は、マスクを希望する子どもたちに配布しています。ご希望の方は、連絡帳等を通して、学校までご連絡ください。これからも、学校応援団の方々の思いに感謝し、教育活動を進めてまいります。



お知らせ



□ 転出・転入の予定について

令和3年度の学級数は、各学年の児童数によって決定します。学年によってはクラス数が変わる可能性があるところもあります。転出の予定がある場合は、なるべく早めに担任までお知らせください。また、近所に引っ越してくるご予定の方がいらっしゃる場合の情報等があれば、あわせてお知らせください。